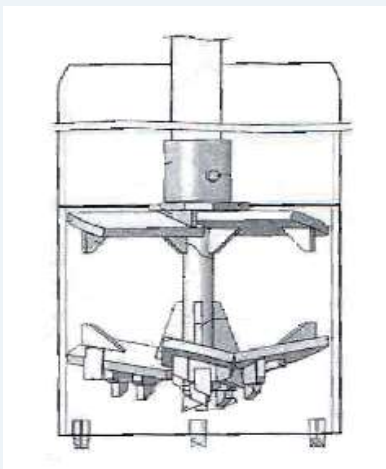


障害破壊用ドリリングバケット

場所打ち杭を施工する場合、様々な不具合が発生する地層があります。
不具合の事例に【障害・既存パイル杭】などがあります。

- 1 障害・既存パイル杭に直面した場合、その対処法としてオールケーシング工法 (CD 工法・その他の工法) に施工方法を変更し、障害物の破壊やパイル杭の撤去、再施工などの対策が取られる



上記に施工法を変更する場合は、

- 1 掘削機の交換
- 2 工期の延長
- 3 多額な施工費の増加 (杭の撤去・新設) が見込まれます。

弊社特許障害破壊バケット を用いると、

- 1 現場のアースドリル機やタンク、資材の入れ替え・移動をする必要がありません。
- 2 ドリリングバケットを付け換えるだけで地中障害の破壊効果を実現します。
- 3 施工機の変更・工期の大幅な延長もなくなります。
- 4 少額の追加費用で、現場のアースドリル機で施工が可能です。

実績

アースドリル機で掘削中、地下約 2m 付近に摩擦杭があり、本バケットに付け換え掘削した。

摩擦杭は本杭 11 本中全杭に入っており、1 本の本杭に摩擦杭が 3 ~ 4 本入っていた。(全長約 9m 直径 30cm 節部 50cm)

本バケットを使用する事で、現場のアースドリル機で、全摩擦杭を破壊し掘削・施工する事が出来た。

多くの現場で採用され実績を積んでおります。